

## 使用済み陶磁器のリサイクルについて

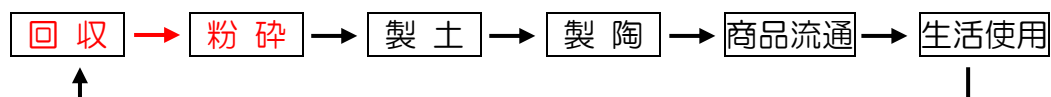


## 1 概要

陶磁器の原料は、粘土・長石などの枯渇性天然資源であり、業界においても陶磁器リサイクルの取り組みが進められています。陶磁器は微粉碎することで原料として活用することが可能です。リサイクル陶土が使用されたものはRe-食器と呼ばれており、配合率50%の製品もつくられています。

本市においても、令和5年度から家庭の使用済み陶磁器の回収を開始し、市民のリサイクル意識の更なる醸成やRe-食器の普及啓発を図ります。なお、11月23日に開催予定の環境フェアでは、業界と連携したRe-食器に関する展示などのほか、使用済み陶磁器の試験回収を実施します。

## 2 リサイクルフロー



## 3 スケジュール

- ・令和5年4月～ クリーンセンター内リサイクルステーションで回収
- ・令和6年4月～ 指定集積所8箇所回収

## 4 予算見込額

回収を実施している多治見市の実績から、市内の潜在的回収量は年間約9トントンと見込まれます。

年度	回収見込量	予算見込額 (円)		
		粉碎委託料	消耗品費	計
令和5年度	2トントン	48,840	184,000	232,840
令和6年度	9トントン	219,780	-	219,780

※ 粉碎委託料 24.42円/kg (買取額0.88円/kg控除)

※ 消耗品費は、回収用コンテナボックス、フレコンバッグ等の購入

## 5 市内のRe-食器関連企業

- ・製陶業 … 市原製陶(株)・小田陶器(株)・(有)丸新製陶所・(株)深山
- ・製土業 … カネ一陶料(有)・(有)白山
- ・粉碎業 … 丸小陶料(株)